

第3回 武蔵野市中学校給食実施計画策定委員会 議事要録

- 日 時：平成20年2月5日（火） 午後3時30分から5時25分
- 会 場：市役所教育委員会室
- 出席委員：金子委員長 南條副委員長 佐々木委員 長野委員 白井委員 原委員
飯田委員 賞雅委員 戸田委員 島本委員 高橋委員
- 事務局：山上教育長 萱場教育企画課長 平岡給食課長 給食課 小山
- 傍聴人：1人

開会

（第2回実施計画策定委員会議事要録の確認）

報告事項（事務局）

試行の結果について

【委員長】 ただ今の報告に対して、質問、意見をお願いしたい。

【委員】 生徒のアンケートに「時間は足りましたか」という質問があるが、実際に食べた時間は何時頃だったのか。

【事務局】 学校によって多少違いはあるが、大体12時30分頃に4時間目が終わり、それから配膳をして、12時50分ぐらいから食べ始める感じであった。ただし、1日目と2日目とでは大分違い、2日目はどこの学校も5分ぐらい準備の時間が短縮ができていたようだ。鐘が鳴ってから取りに来るまで10分近くかかり準備に時間がかかっていたが、配り始めると意外と早かった印象があり、小学校と比べると配膳の手際はよかった。実際食べていた時間は15分ぐらいだった。

なお、学校によっても差があり、特にクラスの人数が多い学校では、やはりその分だけ時間がかかっていた。

【委員】 小学校によっては、年に何回か家から弁当を持って来て食べる日がある。そのときはあっという間に終わってしまう。中学の場合に、弁当の生徒と、給食の生徒との時間的な差はどうだったのか。

【委員】 クラス全員で「いただきます」をするまで弁当の子も待っているのですが、その差はない。

【委員】 中学校は4時間目の授業が教室でやってない授業が多い。また、選択教科では

7コースか8コースに分かれているので、同じクラスでも同時に戻って来ない。そうなる
ると一番遅いところに時間を合わせなければならない。そういう点で給食準備にかかる
までの時間は、それなりにないといけない。

【委員】 配膳の仕方というのは、給食を配膳台に置いて、自分で取っていくという方法
なのか、小学校と同じように、給食当番が盛りつけるのか。

【事務局】 小学校と同じ形で試行したので、子供たちは自然に動いていた。実際に始ま
れば、中学生なりの方法が出てくるかもしれないが、当面は小学校と同じ方法でいくの
が、生徒たちにとってはやりやすいのではないかという感じがした。

【委員】 量が少ないというのがかなり出ている。

小学校の場合は食べ終わってからおかわりするというような形になっているが、試行の
ときはどうだったのか。

【事務局】 おかわりのルールについては、全部食べ終わらないとだめだとか、これは何
個しかないからじゃんけんでやろうとか、自分たちでルールを決めていた。

議題1 中学校給食実施計画策定について

中学校給食実施計画(案)及び作業部会における検討内容報告について事務局説明

【委員】 1校目の実施が11月になっているが、このとき栄養士の人数はどうなるのか。
中学校専門という形をとるのか。

【事務局】 国の基準によると、食数から計算して栄養士は現行の2名になる。まだ最終
的に決めているわけではないが、今の人数でと考えている。

なお、小・中の別献立と言っても、1つの調理場で小学校と中学校の献立をつくる場
合に、完全に全部を別にするというのはスペース的にも難しい。小学生と中学生が同じ
味でも食べられる献立もかなりあるので、実際には共通献立になる部分と分ける部分
が出てくると思う。その点を考えると、特に中学生だけ別の栄養士が献立を立てるとい
よりは、むしろ今の体制で小中を同時に考えていくほうが有効ではないかと考えている。

【委員】 1校目、2校目は、桜堤調理場と北町調理場の両方で実施するのか。

【事務局】 来年度は、まず桜堤調理場から小学校2校を北町調理場に移す。2校分をあ
けて桜堤調理場で中学校2校の給食をつくろうと考えている。

【委員】 小学校は北町調理場に2校移すということか。現在、桜堤調理場は、何校分の
調理をしているのか。

【事務局】 現在4校分を調理している。

【委員】 食器保管を小学校に移すということがポイントだったのではないかと思うが、

作業工程でどれぐらいの時間的なロスを見込んで計算しているのか。

【事務局】 今は食器を調理場に保管しており、朝、学校に持っていつている。それを今度は、食器を洗い終わった後、学校に持って行って熱風消毒保管庫に保管しようと考えている。作業自体は、食器を午前中に持っていくか午後に持っていくかということと、熱風消毒保管庫に入れる作業を、調理場で行うのか学校で行うのかということになるので、全体の作業量はそれほど変わらないと考えている。ただ作業の工程や配送車の運用などは変わってくる。それをどう効率的に行うかということは検討しなければならない。

【委員】 スケジュール表を見ると、最終的には小学校単独校の設置によって中学校給食が全校実施できるような計画になっているが、単独校の工事を終らせて、2年後に全校同時にスタートするというような考えは、無理だったのか。

【事務局】 準備が整えば、そこからなるべく早くやっていきたいと考えた。このような考えは中学校給食検討委員会でも大きな流れとしてあったと思う。確かに単独校ができて、それから中学校給食を始めるといのも考え方としてはあると思うが、その間1校も給食を始められないのかというと、今回示したようなやり方であれば、その間に順次開始していけるということがある。そこで、その選択はとらなかった。

【委員】 夏休みの工事というのは、8月31日までに終るのか。工事の管理というのは大丈夫なのか。

【事務局】 工事については、業者が決まって、その後に打合せをして、最終的に工期や工事日程が決まってくるので、今の段階では細部まで確認するのは難しい。一般論として、設計の規模だとか、工事内容から見るとこういったことが言えるということで計画している。しかし、仮にどうしても夏休み期間から工期が延びるとなると、その対応は考えなければならない。具体的に決まってから、細かいところの対応は考えざるを得ないと考えている。

【委員】 昼休みが短くなってしまふという意見を試行でも聞いたが、下校時間がずれるということではなく、単に昼休みが短くなってしまふということで、やむを得ないということなのか。

【委員】 まだわからないことだが、なるべく放課後の時間が減るようなことはしたくないということがある。ただ、給食の後片づけをする生徒たちは片づけが終わったら、5時間目の予鈴が鳴ってしまうというのではないと思う。この点はこれから詰めていかなければいけないと考えている。

2回の試行だけでは、まだわからないが、実際に始めてみて、例えば2年目になったら、準備も慣れてくるだろうから見直しをするなど、余り固定的には考えないでいき

いている。ただ実情をいうと、今でも昼休みが少し長いという面もある。

【委員】 弁当を食べる時間が10分しかない、よく1年生の保護者から聞くが実態はどうなのか。

【委員】 10分ということはない、15分はとっている。また、チャイムがなって昼休みになっても、食べている子もいる。今、昼休みが少し長い面もあるので、昼休みが5分短くなるぐらいは、そんなに大きな影響はないのではないかと思う。

【事務局】 中学校の給食は、やっていない武蔵野市の方が今や少数派になっているので、他市にたくさんそういった時間割の例がある。そういうことを研究しながら、どうできるかということ、今後も引き続き学校の先生方と検討していきたいと思っている。

【委員】 中学生は、試行をととても楽しみにしていた。小学校で楽しかった給食が、二日間だけだが食べることができて、その思いが強かったようだ。

弁当を一生懸命つくっているけれども、やはり偏ってしまう。色を変えたりという工夫もするが、それでも同じ感じになってしまうし、子どもが残さないように好きなものを入れたりもしている。でも給食は苦手なものもみんなで一緒に食べているので、結構食べられるようだ。

【委員】 間もなく、計画を市民に伝えることになると思うが、給食を実施するなら早くやってほしいという、待ち焦がれる保護者が出てくるのではないかと思う。その段階で実施の順番はどうなるのかということに関心が集まると思う。ここで決めることではないが、それもある程度想定しながらなるべく早く市民に知らせた方がいいと思う。

【事務局】 今月の26日から議会が始まる。議会の中で意見もいただくことになるので、それまでには最終的にまとめていきたいと思っている。

【委員】 給食の運営方法をどうするのかということは、行財政改革の中では小学校給食についても民営化の検討ということが挙げられている。そこで、中学校給食を開始するときにも、やはり民営化も視野に入れた検討を行った結果、こういう計画をたてたということが必要ではないかと思う。

本来であれば、最初の1校を開始するとき、民営化ということを考えるべきではないかと思う。市の正規職員を調理に採用していく。人員増は難しいと思う。必要となる調理員12名が正規職員となると、800万円から1,000万円かかる職員が12名も増になることになり、恐らく市としては考えられないということがある。報告書の8ページに少し書いてあるが、そういうことを検討した上で、こういう運営方法にした方がいいというようなことを示せる実施計画の方がいいと思っている。

また、他区市の実施方法やコスト、民営か直営かというような状況についても把握し

て検討する必要があると思う。

【委員】 民間委託というのは、公設民営か。

【委員】 外部で調理した給食を持ち込むような形をとれば、質の保証みたいところで問題になると思う。

しかし、市の調理場を使って、調理部門の委託というのはあり得ると思う。今回の計画では、時間差で実施していくので、過渡期には民間委託というのが非常に難しいとは思いますが、始めてからある時点で民間委託ということも、非常に難しいのではないかと思う。

【委員】 同じ調理場に民間委託の人と、職員が混在するという事になれば、相当難しいと思う。そうするといい方向にはなかなか進まないと思う。

【委員】 ただ給食課の場合、団塊の世代が多いので、かなりの人数が退職してしまう。そこを正規職員で埋めるというのは、市としてもできないということがあるので、それを含めてどう考えていくかというのは、すごく難しい。

【委員】 近隣の市町村で例えば小学校も含め、調理場を民間委託しているところがどれぐらいあるかという資料とそこのコストの資料をお願いしたい。

【平岡】 コストの資料は持っていない。都内でも、単独調理校では委託化が進んでいるが、共同調理場で民間委託しているのは、東京都では今のところ小平市だけだ。どこの自治体も団塊世代の調理員が大量に退職するという事情は同じなので、課題となっているということは聞いている。

【委員】 民間委託が必要という部分は分からないではないが、民間事業者というのは労働条件がすごく厳しいので、その現場の労働条件等々を考えると、どうなのかと思う。とても微妙な部分なので一口では言えないが、民間委託だけがすべてというわけではないと思う。

【委員】 これは大事な問題だと思う。公設で民間委託を行う場合に、市からのコントロールも可能だというようなことに期待していると思うが。行財政改革では定員削減のことが中心になってくる。今、国では学校給食法の一部改正を検討しており、食育を目的と目標に入れるそう。また、食材の価格が上がっているという問題もある。今、学校給食は大きな問題をいろいろ抱えている。単に民間委託をするかどうかというだけではなく、そういったことも考えながらの議論になればいいと思う。

【委員】 今、中国産冷凍ギョーザから農薬が検出された問題で、学校給食でも使っていたという報道があるが、民間委託のところでの使用が多いと思う。食材が一番お金がかかる部分であって、一番お金を下げられる部分でもある。そういうところを考えると、

市がきちんと人事を持っているのは悪くないと思う。嘱託であれば、コスト的には大分低いのではないかと。

【事務局】 今の調理員の現状として、正規職員が32名、嘱託が7名いる。そのうち、この3年間で退職する正規職員が13名出てくる。なおかつ中学校給食を始めることで正規職員換算で12名必要になってくる。すると単純に25名足りなくなる。残る正規職員は19名となり、これは委託でも嘱託でも、あるいは正規職員であっても、いずれにかかわらずベテランが抜けて行って、新人になってしまい、その時点で調理能力は落ちることが予想される。そういう現実が目の前に迫っている。

その中で、あり方とか体制を考えていかなければならないが、市の嘱託の制度となると、正規職員が責任者で、嘱託はあくまでも手伝いということになってくるので、嘱託の割合が増えていったとき、どこまでやっていけるかという難しさがある。

【委員長】 全体とすると、民間活用ということも含めて考えていかなければならないという方向性があり、職員の定年退職という問題もある。様々な課題や微妙な状況も踏まえて、今後、検討していかなければならないので、報告書としては、このような表現でまとめさせていただいた。

【委員】 通常実施計画というと財政的な記載が必ずされていると思うが、この報告書では、人件費についての記載は若干あるが、イニシャルコストがどのぐらいかかる、あるいはランニングコストがどのぐらいかかるという記載が無い。具体的な改修工事の内容に不確定な部分があるので記載ができないという面はあると思うが、調理場の改修工事、それから中学校の校舎の改修、さらに単独調理施設の建設など施設の関係で10億近い金がかかると想定される。また、ランニングコストも相当かかると思う。そこで、例えば「最小の経費で改修、設置を図る」というような記載を入れられないかと思う。

【事務局】 財政計画の必要性はわかっているが、ご指摘のように、工事の内容が見えないということと、運営方法によってランニングコストが大きく変わる面があり、それが不確定なため記載しなかった。この点については、どういう表現ができるか検討したい。

【委員長】 今後の日程について、事務局の方から説明してほしい。

【事務局】 今日の意見をもとに、若干の修正をしたい。また、財政計画の記載について、委託についても、今、議論いただいたので、改めて表現について検討したい。

議会開会までには、報告書をまとめたいと考えているが、限られた日程の中で、その修正をもう一度協議いただくか、日程的に難しければ、郵送等で修正部分の確認と意

見をいただいてまとめていきたいと思う。

【委員長】 できれば、もう一度お集まりいただくのが一番いいのだが、そうすると日程的には、来週の後半から再来週の前半に開催したいと思うが、いかがか。

【委員】 具体的な日程案はあるのか。

【事務局】 具体的には、14日か19日という日程ではどうか。

来週の週明けには修正した実施計画案を整理して送付したいと思う。

【委員長】 修正案を来週前半に送るので、それを見ていただき、必要があれば、再度、会議を開くことにしたい。特に意見等がなければ、郵送での確認とさせていただくという事で、整理したい。

【委員長】 公開での策定委員会はこれで終わらせていただく。